

2015年 生体運動合同班会議プログラム:2015年1月7日(水)~9日(金)

学習院大学 西5号館B1教室

第1日目:1月7日(水) 午後		
	12:50 ~ 13:00	会場、発表形式の説明と案内(世話人 西坂 崇之)
1	13:00 ~ 13:10	骨格筋培養細胞を用いたコネクチン関連タンパク質の解析 *花島章1、佐藤成樹2、木村澄子3、櫻井隆1、村山尚1 (1 順天堂大・医 2 千葉大・融合 3 千葉大・理)
2	13:10 ~ 13:20	筋弾性タンパク質コネクチンの多様性 *木村澄子・花島章(千葉大・院理)
3	13:20 ~ 13:30	中性子準弾性散乱によるF-アクチン及びミオシンS1のダイナミクス解析 *松尾龍人1, 荒田敏昭2, 小田俊郎3, 藤原悟1 (1:原子力機構, 2:大阪大学, 3:兵庫県立大学)
4	13:30 ~ 13:40	ミオシン-細いフィラメント硬直複合体におけるトロポミオシンとアクチンのカルシウム依存的動的構造: ESRによる探索 *荒田敏昭1,2、植田啓介1,3、山本晃衣1、辻元由起1、相原朋樹1、植木正二4、三木正雄5、(1阪大・院理・生物、2阪大院理先端強磁場、3横浜理研、4徳島文理大、5福井大)
5	13:40 ~ 13:50	ミオシンの協調的首振りとアクチン滑り運動のゆらぎ *近藤洋太、佐々木一夫(東北大・工・応用物理)
6	13:50 ~ 14:00	色素の経口投与による大型昆虫の筋肉カルシウムレベルのin vivo計測 *鈴木団1, Ferdinandus2, 新井敏1, 石渡信一1,3, Hirotaka Sato2 (1 早稲田大・シンガポール研、2シンガポール南洋理工大・機航工)
7	14:00 ~ 14:10	局所レーザー照射による生体分子モーターの活性制御 *井上裕一、永田光範、石島秋彦(東北大・多元)
8	14:10 ~ 14:20	日本最大の蚊、トワタオオカの飛翔筋線維のX線回折 岩本裕之*・八木直人(SPring-8・JASRI)
9	14:20 ~ 14:30	骨格筋ミオシン・クロスブリッジサイクルの見直し *片山栄作(大阪市立大学)
休憩(15分)		
10	14:45 ~ 14:55	ATPのクーロン力で操られるミオシン 佐藤昂人*、大貫隼、梅澤公二、高野光則(早大・物理)
11	14:55 ~ 15:05	骨格筋ミオシンの協同的な力発生メカニズム *茅 元司 鷲尾巧 久田俊明 樋口秀男(東大 院理物理)
12	15:05 ~ 15:15	アクトミオシンの駆動力を水和状態変化から考える *鈴木 誠(東北大)、渡辺貴裕(東北大)、今尾麻人(東北大)、千島亮太郎(東北大)、大相英恭(東北大)、最上譲二(東北大)、和沢鉄一(大阪大)
13	15:15 ~ 15:25	アクチンのTyr143Trp変異はミオシンとの弱い相互作用を促進しTrp356の溶媒露出度を増大させる。 五味淵由貴1、大貫貴広1、上田太郎2、*若林健之1(1 帝京大・理工、2 産総研)
14	15:25 ~ 15:35	アクチンアイソフォームの違いによるミオシン9bの運動能 山田正文*(産総研)、梅木伸久(産総研)、池辺光男(U Texas Health NE)、上田太郎(産総研)
15	15:35 ~ 15:45	RCC1ドメインを持ったテトラヒメナ・ミオシンMyo12の機能解析 *高見澤広子、中野賢太郎、沼田治(筑波大学・生命環境系)
16	15:45 ~ 15:55	ケイソウのミオシン *山岡望海1、末友靖隆2、吉久徹1、園部誠司1 (1兵庫県大・院・生命理学 2岩国市立ミクロ生物館)
17	15:55 ~ 16:05	貝の筋タンパク質とその性質 矢沢 洋一 (北海道教育大学旭川校(東大三崎研究所))
18	16:05 ~ 16:15	アクチン重合制御因子Fhod3による心筋サルコメア形成の制御機構 *武谷立1、藤本智子2、牛島智基2、住本英樹2 (1 宮崎大・医、2 九大・院・医)
休憩(15分)		
19	16:30 ~ 16:40	心筋細胞内における昇温誘起高速サルコメア振動 *新谷正嶺1、大山廣太郎1、福田紀男2、石渡信一1,3 (1 早大・物理、2 慈恵医大・細胞生理、3 早大・WABIOS)
20	16:40 ~ 16:50	1分子から階層を超えて心機能につなぐ *柳田敏雄(理研)、鷲尾巧(東大)、茅元司(東大)、Marcucci Lorenz(Riken)、岩城光宏(理研)
21	16:50 ~ 17:00	ATP非存在下で機械的刺激に誘起されて起こるミオシンVの一方方向性運動 *古寺哲幸1,2、内橋貴之1,3,4、安藤敏夫1,3,4 (1金沢大・理工・バイオAFM 2JST・さきがけ 3金沢大・理工・数物 4JST・CREST)
22	17:00 ~ 17:10	細胞質分裂制御における中心体非依存的微小管の重要性 上原亮太*(北大、創成)、釜崎とも子(北大、遺制研)、矢島潤一郎(東大、総合文化)、五島剛太(名大、理)
23	17:10 ~ 17:20	超解像顕微鏡による、培養細胞の収縮環の微細構造の観察 上条桂樹1、高橋正行2、細谷浩史3、*加藤薫4(東北大院・医学系・人体構造、2 北大院・理・化学系、3 広島大・理・生物、4 産総研・バイオメディカル)
24	17:20 ~ 17:30	PP1依存的なフォーミンの交替は収縮環形成を促進する *折井みなみ1、河野恵子1、温欣宜1、中西真1(1 名市大・院医)

25	17:30 ~ 17:40	II型ミオシンのモーター活性は分裂期後期以降の収縮環の維持に關与する *高橋 正勝、沼田 治、中野 賢太郎 (筑波大・生命環境)
26	17:40 ~ 17:50	分裂酵母を動物細胞のように分裂させる *柏崎 隼、馬淵一誠 (学習院大・理・生命)
27	17:50 ~ 18:00	細胞質分裂における膜リモデリング機構の解析 竹田哲也 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科)
休憩(15分)		
28	18:15 ~ 18:25	Xenopus卵抽出液を封入した小胞中でのアクチンのダイナミクス *野田直紀、馬淵一誠 (学習院大・理・生命)
29	18:25 ~ 18:35	アクトミオシン液滴が示す表層コーテックス構造と動的変形 *西上幸範1、伊藤弘明1、園部誠司2、市川正敏1 (1 京大・理 2 兵庫県立大・生命理学)
30	18:35 ~ 18:45	正常繊維芽細胞の方向持続的遊走におけるミオシンIIアイソフォームの異なる役割 *高橋正行1,2、倉賀野正弘2、村上洋太1,2 (1. 北大院・理・化学、2. 北大院・総合化学)
31	18:45 ~ 18:55	細胞分子イメージングの応用と発展に向けての取り組み：接着斑によるアクチン流動制御 *山城佐和子1、黒田隆太2、田中聡一郎2、渡邊直樹1 (1. 京大・医・薬理、2. 東北大・生命)
32	18:55 ~ 19:05	クライオ電子線トモグラフィ法を用いたフィロポディア内アクチンフィラメント束化メカニズムの解明 *荒牧慎二 (九工大・情工・生命)、真柳浩太 (九大)、青山一弘 (日本FEI)、安永卓生 (九工大・情工・生命)
33	19:05 ~ 19:15	魚種による形の違いから考えるケラトサイトの形が維持されるメカニズム *中田多可子、沖村千夏、岩楯好昭 (山口大・院・医)
34	19:15 ~ 19:25	ツメガエル中内胚葉細胞は基質上のケモカイン濃度勾配を認識できる *福井彰雅 (北大・院・先端生命・組織構築)
35	19:25 ~ 19:35	プロトカドヘリン17は接触した細胞の運動を促進する 林周一*、竹市雅俊 (理研・CDB)
36	19:35 ~ 19:45	細胞性粘菌の高圧処理からの回復過程で顕著な糸状仮足突出はアクチンTyr143変異で増大する。 *五味淵由貴1、西山雅祥2、加藤薫3、大貫貴広1、上田太郎3、若林健之1 (1 帝京大・理工、2 京大・iCeMS、3 産総研)

第2日目:1月8日(木) 午前

37	8:50 ~ 9:00	アクチンのMgポリマーについて *菊本真人、武田修一、前田雄一郎 (名大・院理・構造生物セ・前田G)
38	9:00 ~ 9:10	In vitro actin-myosin slidingは筋肉中のmyofilament slidingとは全く異なる 杉 晴夫* (帝京大・医・生理)
39	9:10 ~ 9:20	アクチン・ミオシンの工学利用に向けたin vitro運動アッセイのシミュレーション *石樽祐貴、新田高洋 (岐阜大)
40	9:20 ~ 9:30	G680Vミオシン存在下で加速する骨格筋アクチン繊維の滑り運動 *岩瀬航平、上田太郎、本多元 (長岡技大、産総研)
41	9:30 ~ 9:40	SH1ヘリックス変異ミオシンの熱安定性、およびmotilityの活性化エネルギー *柴田琴実1、中山恵1、栗田小弥加1、岩井草介2、茶園 茂1 (1 日本大学文理学部、2 弘前大学教育学部)
42	9:40 ~ 9:50	導電性基盤上でのアクトミオシン運動：電流と温度の効果 *和田怜人1、中村孝夫1、羽鳥晋由2 (1 山形大・院・医、2 山形大・院・理工)
43	9:50 ~ 10:00	骨格筋幹細胞から拍動細胞ができる過程 *宮西隆幸、林田彩 (長崎大・院・環境科学)
44	10:00 ~ 10:10	中心子9回対称性構造の構築におけるSAS-6の会合性の役割 苗加彰、Manuel Hilbert、Michel O. Steinmetz、*廣野雅文 (東大・院理・生物)
45	10:10 ~ 10:20	マウス気管繊毛の非対称運動メカニズム -軸系の変形の視点から- *加藤 孝信1、池上 浩司2、岩瀬 寿仁3、政池 知子3,4、瀬藤 光利2、西坂 崇之1 (1 学習院大・理・物理、2 浜松医大・解剖学細胞生物学、3 東京理科大・理工・応用生物、4 科学技術振興機構・さきがけ)
休憩(20分)		
46	10:40 ~ 10:50	ナノ相関顕微鏡法の開発 - ヘテロな系に向けたAFMと電子顕微鏡の融合 *山田裕太郎、春山隆充、紺野宏記、島袋勝弥 (宇部高専・物質)
47	10:50 ~ 11:00	プロテオームによる回虫精子アメーバ運動装置の因子同定 *飯田龍也、北川孝雄、市丸智子、上村咲貴、島袋勝弥 (宇部高専・物質)
48	11:00 ~ 11:10	F1-ATPaseにおけるトルク伝達機構の解明 *渡邊力也、小安司馬、野地博行 (東京大学大学院工学系研究科)
49	11:10 ~ 11:20	Fo分子モーターの回転機構における静電エネルギーの寄与 木山遼一*、昆野朝陽、佐藤昂人、梅澤公二、高野光則 (早大・物理)
50	11:20 ~ 11:30	らせん細菌スピロヘータの回転運動の解析 *中村修一、高部響介、Md. Shafiqul Islam、工藤成史 (東北大・工)
51	11:30 ~ 11:40	べん毛モーター回転子一固定子間相互作用における回転方向に依存した荷電残基の役割 *尾上靖宏、竹川宜宏、錦野達郎、小嶋誠司、本間道夫 (名古屋大・理学)

52	11:40 ~ 11:50	Na ⁺ 駆動型細菌べん毛モーターの運動解析 *西山雅祥1、下田義樹2、木村佳文3、寺嶋正秀2、本間道夫4、小嶋誠司4 (1 京大・白眉セ 2京大理 3 同志社大 4 名大理)
53	11:50 ~ 12:00	細菌べん毛モーターはサーマルラチェットか？ 中村修一1、森本雄祐2,3、上池伸徳3、曾和義幸4、南野徹3、*難波啓一3 (1東北大・工、2理研・QBIC、3阪大・生命、4法政大・生命)
54	12:00 ~ 12:10	アーキアのべん毛は回転する 木下佳昭*、中根大介、西坂崇之 (学習院大学・理・物理)
	12:10 ~ 12:20	写真撮影
お昼休み		
第2日目:1月8日(木) 午後		
55	13:30 ~ 13:40	Cdk5-p39はRac依存的に葉状仮足形成を制御する 伊藤有紀、浅田明子、高野哲也、Govinda Sharma、斎藤太郎、太田安隆、天野睦紀、貝淵弘三、*久永眞市 (首都大学東京)
56	13:40 ~ 13:50	RacGAP因子FilGAPによる癌の運動制御機構の解明 *斉藤康二、太田安隆 (北里大・生物)
57	13:50 ~ 14:00	温度勾配によって誘起されるHeLa細胞のプレブ形成 *大山廣太郎1、新井智実1、井阪智1、関口卓1、伊藤秀城1、瀬戸裕介1、宮崎牧人1、板橋岳志1、大木高志1、鈴木 団1,2、石渡信一1,2 (1 早大・物理、2 早大・シンガポール研 (WABIOS))
58	14:00 ~ 14:10	がん細胞膜表面のPAR-1輸送解析 *Lee Seohyun 茅 元司 樋口 秀男 (東大・院理物理)
59	14:10 ~ 14:20	細胞後部に局在するアクチン結合タンパク質はどのようにして後部へ向かうのか？ 柴田桂太郎* (産総研)、上田太郎 (産総研)
60	14:20 ~ 14:30	ショウジョウバエ培養神経細胞を用いた神経突起伸長に関わる遺伝子の探索 *中川裕之、小川未緒、永石美晴 (福岡大・理)
61	14:30 ~ 14:40	ショウジョウバエの長大な精子が受精囊に入るメカニズムの研究 野口立彦* (防医大・生物)
62	14:40 ~ 14:50	プロゲステロンとGABAによるハムスター精子超活性化の調節 今弘枝 (獨医大・実験動物センター)、竹井元 (獨医大・医・生理)、*藤ノ木政勝 (獨医大・医・生理)
63	14:50 ~ 15:00	織毛虫Lacrymaria olorのproboscisの伸縮機構 *梁瀬隆二、吉久徹、園部誠司 (兵県大・院・生命理学)
64	15:00 ~ 15:10	織毛の流体相互作用による同期とメタクロナル波 *内田 就也1、Ramin Golestanian2 (1 東北大・理 2 Univ. Oxford)
休憩(20分)		
65	15:30 ~ 15:40	伸縮性の細胞表層を伝えるゾウリムシ織毛のメタクロナルウェーブ 馴松直紀1、Raymond Quek2、Keng-Hwee Chiam2、*岩楯好昭1 (1山口大・院・医、2A*STAR)
66	15:40 ~ 15:50	In vivo光架橋法を用いたタンパク質膜透過促進因子SecDFの基質結合部位の同定 三登一八、町田裕紀子、塚崎智也1、伊藤維昭2、秋山芳展、*森 博幸 (京大・ウイルス研、1奈良先端大、2京産大)
67	15:50 ~ 16:00	急速凍結レプリカ法の新奇運動マシナリーへの応用2015 *田原悠平 (大阪市立大学)、Clothilde Bertin (大阪市立大学)、劉 鵬 (南京師範大学)、王 文 (南京師範大学)、和田浩史 (立命館大学)、林 史夫 (群馬大学)、垣内 力 (東京大学)、山岡望海 (兵庫県立大学)、園部誠司 (兵庫県立大学)、宮田真人 (大阪市立大学)
68	16:00 ~ 16:10	モータータンパク質デバイスの開発 —抗体による荷降ろし構築— *澤田葉、丸子勇人、石黒隆、本多元 (長岡技大、太陽誘電)
69	16:10 ~ 16:20	キネシン・微小管でつくる収縮性ファイバー *平塚祐一、新田高洋 (北陸先端科学技術大学院大学)
70	16:20 ~ 16:30	走性による微生物の行動制御と、工学者から見たいくつかの生物学的謎について 伊東明俊 (東京電機大学)
71	16:30 ~ 16:40	超高速ビデオ記録による鞭毛運動波形と微小流動の解析 *宮代大輔 (東大・総合文化・生命環境)・石川依久子 (理研・BSI)・宮脇敦史 (理研)・上村慎治 (中大・理工・生命)
72	16:40 ~ 16:50	金ナノロッドを用いた高速配向イメージングシステムの開発とF1-ATPaseの構造変化検出への応用 *榎 佐和子、飯野 亮太、新谷 大和、皆川 慶嘉、富重 道雄、野地 博行 (東京大学・工学系研究科)
73	16:50 ~ 17:00	大腸菌回転運動の高効率なビデオ計測系の開発とその応用 *田中裕人1、佐川貴志1、松川忠司1、富成征弘2、曾和義幸3、川岸郁朗3、大岩和弘1、小嶋寛明1 (1. 情報通信研究機構・バイオICT 2. 情報通信研究機構・ナノICT 3. 法政大・理)
74	17:00 ~ 17:10	微小管のコークスクリュー運動を利用した三次元角度検出技術の確立 *藤村章子1、足立健吾2、西坂崇之1 (1 学習院大・理 2 早稲田大・理)
	17:30 ~ 19:30	総会・懇親会 (学習院大学内 百周年記念会館 3階)

第3日目:1月9日(金) 午前

75	8:50 ~ 9:00	神経細胞の成長円錐の運動における Iasp-2 のアクチン結合活性の役割 佐々木貴広 ¹ ・中山綾子 ¹ ・戸島拓郎 ² ・上口裕之 ² ・中川裕之 ³ ・*寺崎朝子 ¹ (1千葉大・融合科学、2理研・BSI、3福岡大・理学)
76	9:00 ~ 9:10	MAPs間のFアクチン-微小管束化活性の差 *齋藤翔馬、倉本歩、楨原光、志賀美由貴、小谷享、徳楽清孝 (室蘭工大・院工・環境創生)
77	9:10 ~ 9:20	チューブリン封入ジャイアントリポソームの温度・静水圧変化による可逆的形態制御 *林真人 (名大・院理)、西山雅祥 (京大、iCeMS)、風山 祐輝 (東大・教養)、豊田太郎 (東大・教養、東大・複雑生命)、滝口 金吾 (名大・院理)
78	9:20 ~ 9:30	電子線トモグラフィで検出した細胞骨格間架橋構造のサイズと分布から推定した分裂準備帯形成過程におけるアクチン-微小管相互作用の変化 竹内美由紀 ¹ 、唐原一郎 ² 、*峰雪芳宣 ³ (1東大・院・農、2富山大・院・理工、3 兵県大・院・生命)
79	9:30 ~ 9:40	CRMP2による軸索微小管重合の分子機構 *仁田 亮 (理研CLST)
80	9:40 ~ 9:50	多機能運動装置ハプトネマが示す新規微小管系運動のメカニズム *阿閉耕平 ¹ 、柴小菊 ¹ 、中山剛 ² 、石田健一郎 ² 、稲葉一男 ¹ (1 筑波大・下田臨海、2 筑波大・生命環境)
81	9:50 ~ 10:00	Assembly-Promoting配列を持つ微小管結合蛋白質の構造 *橋友理香、安達健、小谷享 (神奈川大・理・生物)
82	10:00 ~ 10:10	ダイナクチンによるダイニンの運動制御 *宮下拓也 ¹ 、小林琢也 ¹ 、梶田初葉 ¹ 、村山尚 ² 、豊島陽子 ¹ (1 東大総合文化、2 順天堂大医)
83	10:10 ~ 10:20	ダイナクチンp150のCC1領域のレジストリと機能 *梶田初葉 ¹ 、小林琢也 ¹ 、宮下拓也 ¹ 、村山尚 ² 、豊島陽子 ¹ (1 東大総合文化、2 順天堂大医)
休憩(20分)		
84	10:40 ~ 10:50	ダイニンによって駆動される微小管が創出する動的渦形成 *金谷直樹 ¹ 、鳥澤嵩征 ¹ 、古田健也 ¹ 、小嶋寛明 ¹ 、大岩和弘 ¹ (1. 情報通信研究機構・バイオICT)
85	10:50 ~ 11:00	微小管コークスクリュエーション運動の三次元計測による軸系外腕ダイニン及びそのサブユニットの運動特性の定量 *山口真 ¹ 、西坂崇之 ² 、豊島陽子 ¹ 、矢島潤一郎 ¹ (1. 東大・総合文化、2. 学習院大・物理)
86	11:00 ~ 11:10	細胞質ダイニンの集団運動における微小管上での回転ゆらぎ *須河光弘 ¹ 、山口真 ¹ 、高木拓明 ² 、柴田桂太郎 ³ 、豊島陽子 ¹ 、矢島潤一郎 ¹ (1 東大・総合文化、2 奈良医大、3 A I S T)
87	11:10 ~ 11:20	個体の自転を誘導する鞭毛運動 *石川依久子・宮脇敦史(理研・生命光学)
88	11:20 ~ 11:30	ポリグルタミン酸化修飾不全マウス精子に見られる鞭毛運動異常 *紺野在 (浜松医大)、小西慶幸 (浜松医大)、Hyun-Jeong Yang (浜松医大)、阿部学 (新潟大)、山崎真弥 (新潟大)、崎村建司 (新潟大)、柴小菊 (筑波大)、稲葉一男 (筑波大)、池上浩司 (浜松医大)、瀬藤光利 (浜松医大)
89	11:30 ~ 11:40	ホヤ精子鞭毛の新規タンパク質DYBLUPとf/11ダイニンとの相互作用 *久富理 ¹ 、広瀬恵子 ² 、柴小菊 ¹ 、稲葉一男 (1 筑波大・下田臨海、2 産総研)
90	11:40 ~ 11:50	軸系チューブリンポリグリシニン化消失による鞭毛繊維運動の亢進 *池上浩司 (浜松医大)、政池知子 (東京理科大)、西坂崇之 (学習院大)、瀬藤光利 (浜松医大)
91	11:50 ~ 12:00	ウニ精子鞭毛運動におよぼすシリオブレピンDのユニークな作用 *和田祐子 (1 中大・理工・生命)・馬場昭次 (お茶大・理・生物)・上村慎治 (1)
お昼休み		
第3日目:1月9日(金) 午後		
92	13:00 ~ 13:10	淡水湖沼から単離された巨大磁性桿菌GRS-1の走磁性運動 *田岡 東、近藤純也、Zachery Oestreicher、福森義宏 (金沢大学理工研究域)
93	13:10 ~ 13:20	共培養がMethylobacterium sp. 121株の運動性に与える影響 *若林 佑 ¹ 、清水 哲 ² 、中村 顕 ² 、伊藤 政博 ¹ (1: 東洋大学大学院 生命科学研究科 2: 筑波大学 生命環境系)
94	13:20 ~ 13:30	生育pHの異なる2種類のBacillus属細菌が持つNa ⁺ 駆動型べん毛モーター固定子MotPSの中性環境におけるNa ⁺ 親和性の差異 ○高橋優嘉 ¹ 、野口有希奈 ² 、伊藤政博 ^{1,2} 、(1東洋大学 生命科学部、2東洋大学大学院 生命科学研究科)
95	13:30 ~ 13:40	バクテリアべん毛蛋白質輸送におけるFlhI ATPaseの作用機構 *南野徹 ¹ 、森本雄祐 ² 、木下実紀 ¹ 、難波啓一 ^{1,2} (1阪大院・生命機能、2 理研・QBiC)
96	13:40 ~ 13:50	外力存在下のF1-ATPaseの回転観察 菊池洋輔* (中大・理工)、鳥谷部祥一 (東北大・工学研究科)、上野博史 (中大・理工)、宗行英朗 (中大・理工)
97	13:50 ~ 14:00	好熱菌F1のカップリングメカニズム *足立健吾 ¹ 、大岩和弘 ² 、吉田賢右 ³ 、木下一彦 ¹ (1早大・物理、2NICT・未来ICT研、3 京産大・生命)

98	14:00 ~ 14:10	バクテリアアクチンによる細胞極性制御 塩見 大輔 (立教大学・理・生命理)
99	14:10 ~ 14:20	プラスミド分配因子TubZの活性化機構の解析 *林 郁子 (横浜市立大学)
休憩(15分)		
100	14:35 ~ 14:45	大腸菌のダイナミン様因子CrpCの染色体接着・分配における役割とGTP結合・水解活性の解析 *野口泰徳、片山 勉 (九大院・薬)
101	14:45 ~ 14:55	大腸菌の新生DNA鎖の接着および均等分配を支えるダイナミン様蛋白質CrpCのC末端領域の機能解析 *谷口紗輝、野口泰徳、加生和寿、片山 勉 (九大院・薬)
102	14:55 ~ 15:05	クロマチンリモデリング因子Paf complexの機能解析 *韓 龍雲1、大西舞1、2、山崎冨果1、2、津中康央1、3、山田和弘4、多田隈尚史5、原田慶恵1 (1京大・iCeMS 2同女大・生活化学 3さきがけ 4ハイデルベルグ医学研究所 5東大・新領域創成)
103	15:05 ~ 15:15	リバースジャイレースによるDNAの二重らせんをきつく巻きつける反応の解析 *小川泰策1、余語克紀2、古池晶3、須藤和夫1、菊池韶彦4、木下一彦1 (1早大・物理、2北里大院・医療系、3大阪医大・物理、4名大・医)
104	15:15 ~ 15:25	本格的な研究への予告編としての琵琶湖産新種ツリガネムシの生と死 *浅井 博1、永井萌土2 (1早稲田大学理工学総合研究センター、2豊橋技術科学大学・機械工学)
105	15:25 ~ 15:35	クラミドモナス鞭毛の表面運動：膜タンパク質の意外な挙動 神谷 律 (学習院大・理)*、箕浦高子 (中央大・理工)
106	15:35 ~ 15:45	クラミドモナスの負の重力走性の力学メカニズムにおける鞭毛の役割 *鹿毛あずさ、菊地謙次、石川拓司 (東北大・工・バイオロボティクス)
107	15:45 ~ 15:55	クラミドモナス走光性符号決定における眼点の役割 植木紀子1,2、持地翔太3、井手隆広1、廣野雅文3、*若林憲一1 (1:東工大・資源研、2:中央大・理工・生命、3:東大・院理・生物科学)
休憩(15分)		
108	16:10 ~ 16:20	光運動を制御するミドリムシ光センサーの構造解明に向けて 岩崎憲治、*廣瀬未果、伊関峰生、建部 益美、松永茂 (大阪大学・蛋白質研究所)
109	16:20 ~ 16:30	指向性単細胞運動のメカニズム解明を目指したシアノバクテリアの光走性解析 杉本優希、堀田淑坤、増田真二* (東工大バイオセンター)
110	16:30 ~ 16:40	糸状性好熱細菌の滑走運動を制御する分子機構 *諸星聖、福島俊一、松浦克美、春田伸 (首都大・生命)
111	16:40 ~ 16:50	Flavobacterium johnsoniae のレール状滑走装置 *柴田敏史、中山浩次 (長崎大)
112	16:50 ~ 17:00	肺炎マイコプラズマの滑走運動に必要な P1 タンパク質の構造解析 *見理 剛 (国立感染症研究所)、森 茂太郎 (国立感染症研究所)、清水 隆 (山口大学)
113	17:00 ~ 17:10	マイコプラズマ滑走運動に関わる新奇タンパク質 *浜口 祐 (大阪市立大学)、宮田真人 (大阪市立大学)
114	17:10 ~ 17:20	単一糖鎖上におけるマイコプラズマの滑走運動 *笠井大司 (大阪市立大学)、浜口 祐 (大阪市立大学)、宮田真人 (大阪市立大学)
115	17:20 ~ 17:30	黄色ブドウ球菌のコロニスプレッディングにおける菌体表層毒素の機能 垣内力*、関水久 (東京大学大学院薬学系研究科)
	17:30 ~ 17:35	閉会の挨拶 (世話人 馬淵 一誠)